

# 保育者養成校におけるピアノ実技指導のあり方

— S 短期大学生の実態から —

仲 野 悦 子

## A Study of Piano Instruction in Early Childhood Teacher Training The Reality at a S Junior College

Etsuko NAKANO

### 要 旨

保育者養成校は、主に幼稚園免許状と保育士資格を取得するための教育課程が組まれている。その中で音楽に関する授業科目として、「基礎音楽」（教科）と保育内容研究「音楽表現」（教職）がある。今回の目的として、その教科目のピアノ実技に焦点をあて、1）平成23年度までの10年間の学生の進捗実態把握。2）幼児歌曲の取り組み方法や教材研究。3）ピアノ練習をするにあたって学生側と指導者側からの思いを明らかにし、今後の指導方法に繋げるものである。結果から、進捗としてグレード制をとっている為か年毎にそれほど大きな差はないものの、ここ数年一部学生と三部学生の差が殆どなくなって来ている。そして、学生は幼児歌曲の教材として現場で多く活用している歌を選曲していた。また、ピアノ練習にあたり時間的技術的に多くの葛藤の中で実力をつけ、それを指導者が支えていることが理解できた。

キーワード：ピアノ技能 指導法 幼児歌曲 保育者養成 短期大学生

### 1 はじめに

S 短期大学部幼児教育学科の学生は、2年または3年間という短い期間に主に幼稚園免許と保育士資格を取得することを目的として、保育者としての様々な知識と技能を学ぶことが要求されている。専門的な知識を大学で学ぶ傍ら、実践者として教育・保育実習を行い子ども理解や保育者としての役割を理解できるように教育課程が組まれている。その中で『音楽』を担当する教員として、非常勤も併せて11人の指導教員と連携を取りながら学生のピアノ指導にあたっている。

一部学生の約3割の学生は、初めてピアノに触れる初心者でもある。また、三部学生の約半数以上が初心者で入学してくるのが現状である。<sup>(註1)</sup> 短期間に保育者として基礎的な技能だけではなく、弾きながら歌う「弾き歌い」の技能も要求される。この技能は、初心者にとってより多くの負担となるようである。しかし、学生は、保育活動における音楽の役割は大きく欠かせないものであることを、実習など通して十分に理解している。また、指導者は、入学するまでに様々なピアノ経験を持った学生に対して、2年または3年後に保育者としての技能を身に付けるためのよりよい指導のあり方を継続的に研究することが課せられている。

ピアノ指導に対して今までにも多く研究されているが<sup>(註2)</sup>、今回は次の3つの課題を明らかにすることにより今後のピアノ技術指導のよりよいあり方を検討したい。

- ① 本学の学生の実態を明かにする。平成14年度から平成23年度までの10年間の学生のピアノ技能の推移をみる。<sup>(註3)</sup> 一部学生及び三部学生ともに、入学時、「基礎音楽Ⅰ」、「基礎音楽Ⅱ」、「音楽表現Ⅰ」の教科目ごとの定期試験時のグレードによる進捗状況や、「音楽表現Ⅱ」で行う課題曲『ブルグミュラー 25の練習曲』と『ブルグミュラー 18の練習曲』の取り組み状況を確認し、今後の指導体制や指導内容のあり方を検討する。
- ② 幼児歌曲の教材研究を行う。将来保育者を目指す学生が、保育者として日頃の活動に音楽教材として取り上げたいベスト曲をあげ、ピアノ練習曲や表現活動の年間計画に繋げる。また、就職試験課題曲も視野に入れた練習方法のあり方も検討したい。
- ③ 日頃のピアノ練習に取り組む学生の思いと指導者側からの思いを探る。双方の意見から今後の指導方法のあり方を検討する。

## 2 研究方法

### ① 学生のピアノ技術の10年間の進捗状況

平成23年度現在、対象大学の教育課程の中に音楽に関する演習科目として、1年次に卒業・幼児・保育士必修である「基礎音楽Ⅰ」(前期)、卒業・幼児必修及び保育士選択として「基礎音楽Ⅱ」(後期)、2年次に卒業・幼児必修及び保育士選択として「音楽表現Ⅰ」(前期)、卒業・保育士選択として「音楽表現Ⅱ」(後期)がある。それぞれの授業科目を受講した学生を対象に定期試験における結果を基に、平成14年度から平成23年度までの進捗状況推移をみる。方法として、グレード別に点数化し平均値や標準偏差値の10年間の結果を基に推移を確認する。1年次の「基礎音楽」は、平成20年度入学生からセメスタ制となり、通年授業が半期ごとの授業展開となった。表-1は、年度ごとの受講学生数の推移であり対象学生とした。<sup>(註4)</sup>(資料-1参照)

表-1 年度別受講学生数

実施年度	1年次						2年次			
	入学時		基礎音楽Ⅰ		基礎音楽Ⅱ		音楽表現Ⅰ		音楽表現Ⅱ	
	一部学生	三部学生	一部学生	三部学生	一部学生	三部学生	一部学生	三部学生	一部学生	三部学生
2002 (H14)			132	59	129		130		121	
2003 (H15)	126	57	126	56	126	50	129	51	121	34
2004 (H16)	123	59	119	59	115	54	124	51	111	49
2005 (H17)	125	56	125	56	118	52	113	53	92	52
2006 (H18)	129	63	129	63	126	61	117	50	87	48
2007 (H19)	111	63	110	60	107	58	126	59	94	36
2008 (H20)	103	58	103	57	102	55	103	56	75	54
2009 (H21)	105	64	103	61	102	60	101	55	76	42
2010 (H22)	106	55	106	55	105	52	100	60	80	47
2011 (H23)	123	63	123	63	122	59	104	52	66	46

② 教材「幼児歌曲」の検討

学生が教材研究として、将来保育者として取り上げたい幼児歌曲を『ベスト50曲』および『ベスト30曲』として選曲した結果をまとめる。表-2は対象調査内容である。内容によってそれぞれカテゴリー別にⅠからⅣにグループ化した。最終的に保育に活かされる幼児歌曲として100曲取り上げ、さらに年間計画として全体を分類し検討する。これらの曲は、保育に活かされる歌曲であり、学生は日頃より練習し歌って欲しい曲として提案したい。

表-2 保育に活かす幼児歌曲

対象	分類	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
選曲種別		ベスト30曲		ベスト50曲	
対象年度		H17/H18/H19 (1月)	H20/H21 (1月)	H18/H19 (12月)	H23/H24 (4月)
対象学年 (一部学生)		1年生 (基礎音楽Ⅱ)	2年生 (音楽表現Ⅱ)	2年生 (音楽表現Ⅱ)	2年生 (音楽表現Ⅰ)
総人数		334人 (110/122/102)	144人 (71/73)	169人 (94/75)	206人 (102/104)

③ ピアノ練習に取り組む学生の思いと指導者側からの思い

学生と指導者双方からのアンケートによる意識調査結果から検討を試みた。学生の思いとして、日頃の練習の困難点と充実感などを探る。また、指導者側からは、学生の練習状況や身に付けさせたい力など日頃の指導における考えを聞き、より良い指導方法のあり方を検討する。調査時期は平成24年度6月。対象者は、一部2年生「音楽表現Ⅰ」受講学生107人、ピアノ教員11人（専任；3人、非常勤8人）である。

3 研究結果

① 学生のピアノ技術の10年間の進捗状況

ア) 一部及び三部学生「入学時」の＜平均値・標準偏差値＞の推移

「入学時」のピアノ進捗状況である。一部学生は、初心者が平均27人（23%）、最大人数は平成19年度の45人（41%）、最小人数は平成20年度の15人（15%）である。9年間の一部学生の平均値の平均は1.9、最高値が15年度2.63、最低値が平成19年度1.17であった。標準偏差値の平均は1.51、最高値が15年度1.81、最低値が平成21年度1.28であった。三部学生は、初心者が平均27.9人（47%）、最大人数平成21年度の41人（64%）、最小人数平成23年度の16人（25%）である。9年間の三部学生の平均値平均は1.25、最高値が平成17・23年度1.68、最低値が平成20年度0.57であった。標準偏差値の平均は1.43、最高値が17年度1.89、最低値が平成20年度0.98であった。約半数近い学生が初心者として入学し、2年間及び3年間で保育者としての技能をつけることになる。図-1は、入学時の一部学生と三部学生の平均値の推移を比較したものである。平成20年度（0.57）をピークに三部学生が若干低いレベル推移していたものの、平成23年度の数値では殆ど同じレベル（1.76/1.68）になって来ている。平成20年度が一部学生と三部学生の進捗レベル差が一番大きい。数値はすべてグレードを示している。

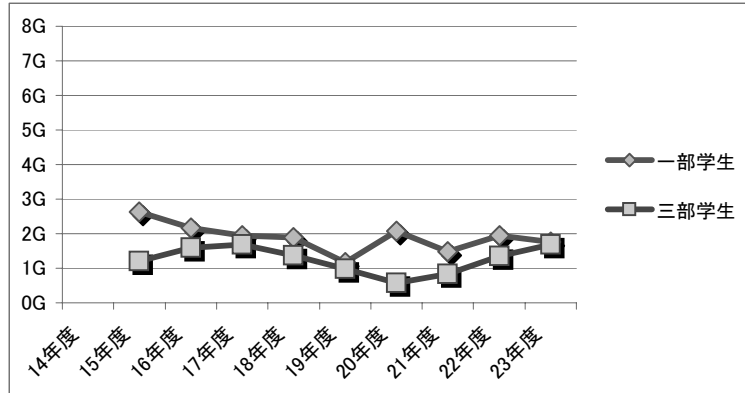


図-1 1年生：入学時（4月当初）平均値

イ) 一部及び三部1年生「基礎音楽Ⅰ」の〈平均値・標準偏差値〉の推移

「基礎音楽Ⅰ」のピアノ進捗状況である。一部学生における10年間の平均値平均は3.32、最高値が19年度3.64、最低値が平成23年度2.9であった。標準偏差値の平均は1.52、最高値が平成17年度1.8、最低値が平成23年度1.26であった。三部学生は、平均値の平均は2.34、最高値が平成17年度2.93、最低値が平成20年度1.71であった。標準偏差値の平均は1.51、最高値が22年度2.24、最低値が平成14年度1.19であった。偏差値の平均は一部学生及び三部学生共に大きな差が見られない。平成22年度には共にグレード9（以後グレードをGと記載）を取得した学生がそれぞれに3人ずついる。図-2は教科「基礎音楽Ⅰ」の一部学生と三部学生の10年間の平均値の推移を表したものである。平成20年度入学生より「基礎音楽」が半期毎に前期は「基礎音楽Ⅰ」、後期は「基礎音楽Ⅱ」として変更された。今まで通年科目であったため後期までにG2を取得すればよかったが、変更に伴い「基礎音楽Ⅰ」ではG1までを取得、「基礎音楽Ⅱ」ではG2まで修得することが課題となり、初心者にとっては時間的な余裕がなくなった。三部学生における平成22年度の入学時（1.36）と基礎音楽Ⅰ（1.71）の進捗の向上が少ない。G0の人数にも変化が見られない。平成17年度と23年度は三部学生の数値が高く、同じレベル（3.47/2.93、2.9/2.65）に接近している。

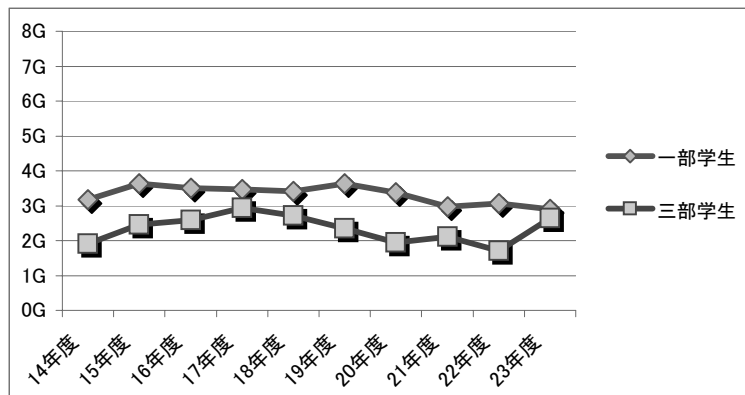


図-2 1年生：基礎音楽Ⅰ（前期）平均値

ウ) 一部及び三部1年生「基礎音楽Ⅱ」の〈平均値 標準偏差値〉の推移

「基礎音楽Ⅱ」のピアノ進捗状況である。一部学生における10年間の平均値平均は4.42、最高値が15年度4.97、最低値が平成21年度3.93であった。標準偏差値の平均は1.49、最高値が平成17年度1.75、最低値が平成23年度1.28であった。三部学生は、平均値の平均は3.59、最高値が平成17年度4.02、最低値が平成20年度3.07であった。標準偏差値の平均は1.51、最高値が17年度1.84、最低値が平成16年度1.24であった。図-3は、教科「基礎音楽Ⅱ」の一部学生と三部学生の平均値の推移を表したものである。三部学生における平成22年度数値が「基礎音楽Ⅰ」と比較してみると、平均値より高く、レベル的に三部学生の入学者がピアノに対する意識が向上している。また、平成19年度をピークに平成23年度に向けて次第に差がなくなっている。

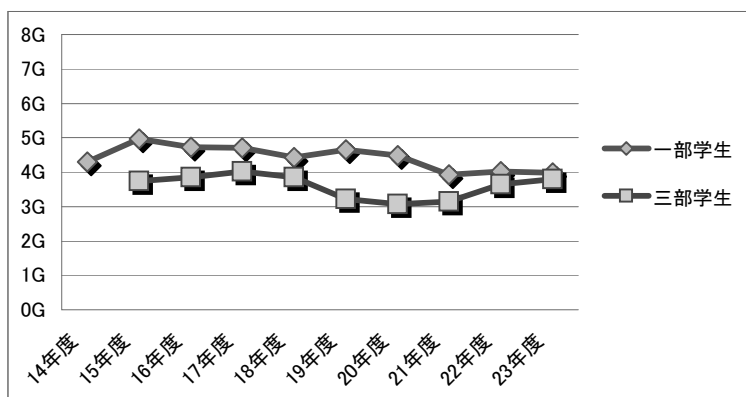


図-3 1年生：基礎音楽Ⅱ（後期）平均値

エ) 一部及び三部2年生「音楽表現Ⅰ」の〈平均値 標準偏差値〉の推移

「音楽表現Ⅰ」のピアノ進捗状況である。この半期間でG4までを習得する事が課題となっている。保育士国家試験レベルと同じくバイエル終了を目標としている。2年生に進級しピアノ技術にも慣れたものの、2つのグレードを習得しなければならない事は、初心者から始めた学生にとっては相当の努力が必要である。また、この期間には教育実習や施設実習があり、練習が十分できないことも大きな原因である。一部学生における10年間の平均値平均は5.38、最高値が平成16年度5.77、最低値が平成22年度4.75であった。標準偏差値の平均は1.36、最高値が18年度1.68、最低値が平成22年度1.19であった。三部学生は、平均値の平均は4.53、最高値が平成17年度5.06、最低値が平成20年度3.63であった。標準偏差値の平均は1.25、最高値が18年度1.69、最低値が平成20年度0.84であった。図-4は、教科「音楽表現Ⅰ」の一部学生と三部学生の平均値の推移を表したものである。平成20年度における三部学生の進捗が極端に低く差が大きい。また、最終的グレード試験においても、平成23年度の平均値の差(4.96/4.85)は殆どなくなっている。

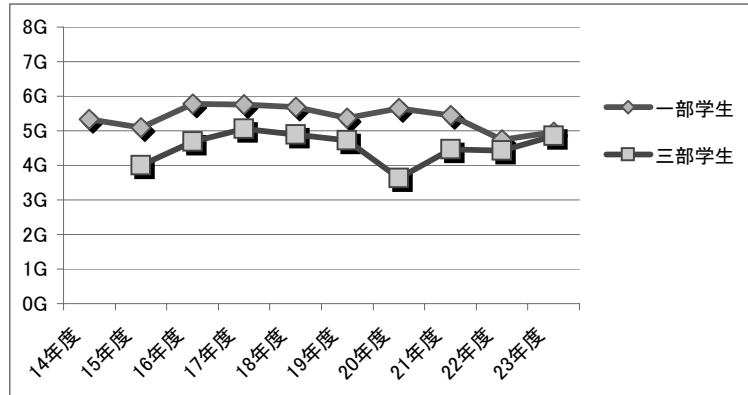


図-4 2年生：音楽表現 I（前期）平均値

#### オ) ピアノ実技進捗推移（一部学生・三部学生）

図-5および図-6は、一部及び三部学生の平成15年度入学生から平成23年度入学生までの18か月間のピアノ進捗平均値の推移である。入学時から「音楽表現 I」までのグレードによるピアノ技術の習得状況である。平成23年度入学生のデータは、平成24年度前期試験実施結果によるものである。それぞれの平均値は、一部学生5.01、三部学生4.81であった。<sup>(註4)</sup> グレード制を導入している為、レベルはそれなりに向上しているものの、一部学生の平成21年度入学生から練習意欲の低下からレベルが全体に下がっている。三部学生は平成19年度を底に次第に一部生に追いついているが、内容的には、学生のレベルが相対的に下がっている事が理解できる。

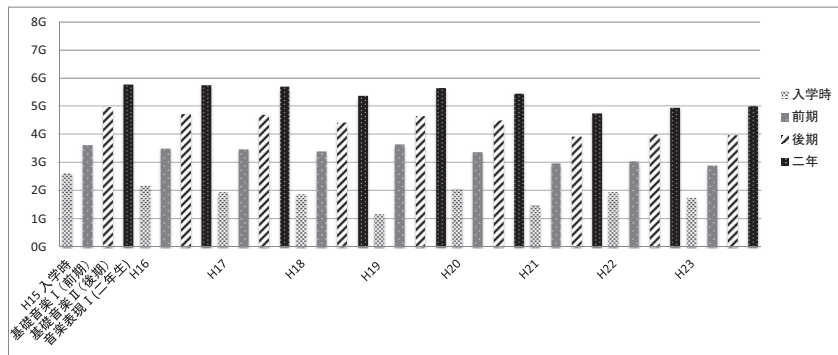


図-5 一部学生；入学時から18か月後までのピアノ平均値進捗推移

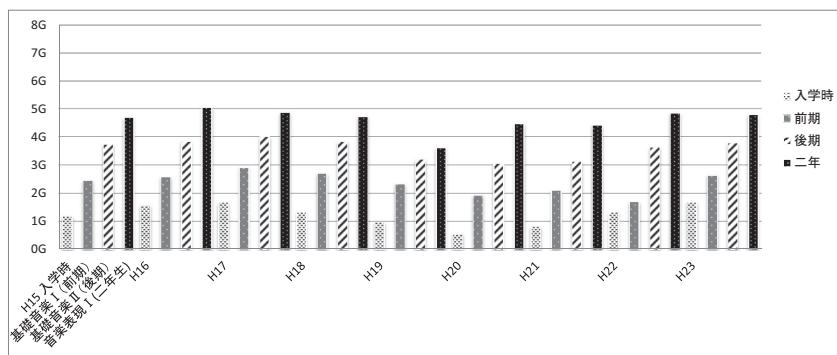


図-6 三部学生；入学時から18か月後までのピアノ平均値進捗推移

カ) 一部・三部2年生「音楽表現Ⅱ」受講者数推移

「音楽表現Ⅱ」は卒業及び保育士選択科目である。表-3は、平成14年度から10年間の選択した学生数の推移である。受講者の選択平均割合は81%、一部学生が79.5%、三部学生が92.8%であった。一部学生の選択人数が平均より低い結果となっている。課題曲として<ブルグミュラー25の練習曲>と<ブルグミュラー18の練習曲>としている。受講学生の取り組み状況として、<ブルグミュラー25の練習曲>が71%（一部学生；66%、・三部学生；83%）、<ブルグミュラー18の練習曲>が29%となっている。教則本に出てくる小品曲は、標題音楽でもあり取り組みやすく、表現力をつける曲として良い教材と考える。基礎技能が育ち、より表現力を豊かに演奏するための技能をこの授業でつける事を目的としている。

表-3 2年生：後期 <音楽表現Ⅱ>受講者数

年度	H14		H15		H16		H17		H18		H19		H20		H21		H22		H23		合計
	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	
総学生数(人)	130		129	51	124	51	113	53	117	50	126	59	103	56	102	55	102	60	104	52	1637
受講者数(人)	121		121	34	111	49	93	52	87	48	97	36	75	54	75	42	79	47	66	46	1333
受講者割合(%)	93%		94	67	89	96	81	98	74	96	75	61	73	96	75	76	78	78	63	88	81
ブルグ25(人)	93		89	34	41	37	51	42	50	32	64	26	57	46	51	37	63	44	54	41	952
ブルグ18(人)	28		32	0	70	12	42	10	37	16	33	10	18	8	24	5	16	3	12	5	381

\* <一部・三部学生受講者による「ブルグミュラー 25の練習曲」の取り組み状況推移>

表-4は10年間の学生の定期試験で選曲した曲目である。25曲ある中で、15番の<バラード>が102人で一番多い。次に1番の<素直の心>、2番の<アラバスク>となっている。まだ弾く事に自信のない学生が選曲したと思われる。一部学生では、15番の<バラード>、25番の<貴婦人の乗馬>、14番の<シュタイヤー舞曲>が多く選曲されていた。評価としてはA評価が全体の19%、B評価が63%。C評価が15%であった。

表-4 音楽表現Ⅱ ピアノ実技取り組み状況 [ブルグミュラー25の練習曲]

年度 曲番号	H14		H15		H16		H17		H18		H19		H20		H21		H22		H23		合計(内訳 一部学生)	
	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部		
1 素直の心	6		7	7	4	6	0	4	4	6	2	4	3	9	2	7	1	9	3	8	92	32
2 アラベスク	8		9	5	3	5	1	3	4	4	6	3	1	4	3	7	5	5	5	7	88	45
3 パストラル(牧歌)	8		6	3	0	2	3	2	4	1	6	1	4	1	2	0	5	4	1	2	55	39
4 小さな集い	1		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	4
5 無邪気	4		4	3	2	0	6	5	2	3	0	0	1	0	0	6	5	3	1	5	50	25
6 進歩	2		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	4
7 清らかな小川	6		4	1	3	3	0	6	1	1	3	1	3	1	0	2	2	3	1	1	42	23
8 優美	2		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	3
9 狩	1		3	0	1	2	0	0	4	3	4	1	2	4	3	1	5	2	4	1	41	27
10 やさしい花	4		2	1	1	2	2	0	1	2	1	1	0	0	1	0	2	1	1	1	23	15
11 せきれい	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	3
12 別れ・さようなら	7		5	3	1	1	8	1	4	3	4	3	6	3	5	2	2	2	3	1	64	45
13 なぐさめ	0		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	6	3
14 シュタイヤー舞曲	4		6	0	2	2	3	1	4	2	8	2	5	2	4	2	6	2	6	3	64	48
15 バラード	8		11	1	8	4	3	4	5	1	6	2	6	4	9	3	10	5	7	5	102	73
16 ちょっとした悲しみ	2		1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4
17 おしゃべりさん	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
18 気がかり	0		2	0	0	0	1	1	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	9
19 アヴェ・マリア	1		1	1	3	0	1	1	1	0	0	0	1	1	2	1	2	1	3	0	20	15
20 タランテラ	4		7	1	2	1	1	3	2	1	5	2	3	3	7	3	4	0	2	4	55	37
21 天使の声	6		4	1	3	4	6	2	2	0	5	2	4	5	4	1	2	2	3	1	57	39
22 バルカロール(舟歌)	5		2	0	0	3	3	1	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	2	0	22	17
23 再会	4		7	2	2	1	3	1	4	0	5	0	7	0	2	1	2	1	1	1	44	37
24 つばめ	0		1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	7	5
25 貴婦人の乗馬	10		6	3	4	1	7	3	4	4	5	4	7	5	5	1	5	3	7	1	85	60
<725番>取組学生数	93		89	34	41	37	50	42	51	32	64	26	57	46	51	37	63	44	54	41	952	(613)
割合(%)	77		74	100	37	76	54	81	57	67	65	72	76	85	68	88	80	94	82	89	71	
「音楽Ⅱ」受講者数(人)	121		121	34	111	49	92	52	88	48	97	36	75	54	75	42	79	47	66	46	1333	(925)

## 評価

評価	年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計
A	4	7	6	3	8	4	4	7	7	7	3	185
B	73	65	17	27	13	43	26	30	16	49	16	600
C	16	17	9	11	9	3	8	12	8	8	6	143
不可	0	0	2	0	7	0	4	2	1	0	1	24
合計	93	89	34	41	37	50	42	51	32	64	26	952



\* <一部・三部学生受講者による「ブルグミュラー 18の練習曲」の取り組み状況推移>

10年間の取り組み状況である。「ブルグミュラー 25の練習曲」よりも内容的にレベルが高く、G5以上を習得している学生が主に取り組んでいる。18曲ある中で、14番の<ゴンドラの船頭歌>が63人で一番多く選曲している。次に13番の<大雷雨>、3番の<家路につく牧童>となっている。一部学生のみを選曲においても同じ傾向で、17番の<マーチ>が<家路につく牧童>とともに30人が取り組んでいる。それぞれに特色のある小品で、メロディーも美しく取り組みやすい。評価としてはA評価が全体の57%、B評価が40%、C評価が2%であった。

表-5 音楽表現Ⅱ ピアノ実技取り組み状況 [ブルグミュラー18の練習曲]

年度 曲番号	H14		H15		H16		H17		H18		H19		H20		H21		H22		H23		合計(内訳 一部学生)	
	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部	一部	三部		
1 ないしょ話	1		5	0	6	0	3	0	2	0	4	0	2	1	1	0	0	1	0	1	27	24
2 真珠	0		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	3
3 家路につく牧童	6		4	0	9	5	3	1	2	3	1	0	1	1	3	1	1	0	0	0	41	30
4 ジブシー	1		2	0	8	1	2	2	3	1	1	0	0	2	1	0	1	0	1	1	27	20
5 泉	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
6 陽気な少女	0		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7 子もり歌	1		2	0	4	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10	9
8 アジタート	2		2	0	1	0	3	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	10
9 朝の鐘	3		4	0	7	0	3	2	1	1	0	0	2	2	3	1	1	0	1	0	31	25
10 すばやい動き	0		1	0	5	1	3	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	14	12
11 セレナード	0		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
12 森での目ざめ	0		2	0	2	1	2	1	0	1	4	2	0	0	2	1	1	0	0	0	19	13
13 大雷雨	3		4	0	5	0	5	2	6	2	6	2	3	1	0	0	5	2	2	1	49	39
14 ゴンドラの船頭歌	5		5	0	10	1	6	1	10	0	5	2	6	0	2	1	3	0	5	1	63	57
15 空気の精	2		0	0	2	0	1	1	2	1	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	14	12
16 わかれ	1		0	0	2	2	3	0	1	2	1	0	0	0	2	0	1	0	3	0	18	14
17 マーチ	1		0	0	4	1	3	0	7	2	5	3	2	0	5	1	3	0	0	1	38	30
18 つむぎ歌	2		1	0	2	0	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11	11
<ブ18番>取組学生数	28		32	0	70	12	42	10	37	16	33	10	18	8	24	5	16	3	12	5	381(312)	
割合(%)	23		26	0	63	24	46	19	43	33	35	28	24	15	32	12	20	6	18	11	29	
「音楽Ⅱ」受講者数(人)	121		121	34	111	49	93	52	87	48	97	36	75	54	75	42	79	47	66	46	1333(925)	

評価

評価	年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計									
A		22	19	0	30	8	17	5	19	7	12	7	15	6	16	5	13	2	10	5	218
B		3	13	0	39	3	25	5	17	8	18	3	3	2	8	0	3	1	1	0	152
C		3	0	0	1	1	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
不可		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計		28	32	0	70	12	42	10	37	16	33	10	18	8	24	5	16	3	12	5	381

## ② 教材「幼児歌曲」の検討

保育者として子ども達と一緒に歌ってみたい幼児歌曲をそれぞれ『ベスト30曲』及び『ベスト50曲』を選曲した結果である。表-6は、カテゴリーごとに分類したⅠからⅣ群の対象者である。ⅠとⅡ群はそれぞれ1年生と約1年間学んだ後の2年生を対象に『ベスト30曲』を選曲した。ⅢとⅣ群は、卒業間近い2年生と進級した4月の最初にそれぞれ『ベスト50曲』を選曲した。それぞれの期間は約1年間経過している。それぞれの学生が選曲した幼児歌曲は年間計画として保育活動を見直す機会でもある。1年間約52週あり、少なくとも50曲程度の幼児歌曲は保育活動に取り上げて欲しいと願っている。年ごとにレパートリーも増え、保育室から子ども達の元気な歌声といろいろな曲が聞こえてくるのが望ましい。

表-6 保育に活かす幼児歌曲

対象	分類	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
選曲種別		ベスト30曲		ベスト50曲	
対象年度		H17/H18/H19 (1月)	H20/H21 (1月)	H18/H19 (12月)	H23/H24 (4月)
対象学年 (一部学生)		1年生 (基礎音楽Ⅱ)	2年生 (音楽表現Ⅱ)	2年生 (音楽表現Ⅱ)	2年生 (音楽表現Ⅰ)
総人数		334人 (110/122/102)	144人 (71/73)	169人 (94/75)	206人 (102/104)

## ア) Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ群別における幼児歌曲集計結果

表-7は、保育者として子ども達と一緒に歌ってみたい幼児歌曲をそれぞれ『ベスト30』及び『ベスト50曲』を選曲した結果をⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ群別に上位100曲を取り上げ集計した結果である。また、表-8は、それぞれに選曲された幼児歌曲を見た結果、132曲が選曲された表である。その内訳として、75曲の幼児歌曲が全ての群に選曲され上位にある。＜南の島のハメハメ大王＞や＜北風小僧の寒太郎＞などの15曲は3群に、＜きのこ＞や、＜どんな色がすき＞など19曲は2群に、＜ありさんのおはなし＞や＜おむねをはりましょう＞など23曲は1群のみに選曲されていた。

表-7 類型別（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）幼児歌曲集計結果（1）

番号	曲目（Ⅰ）H17~19	集計	曲目（Ⅱ）H20/21	集計	曲目（Ⅲ）H18/19	集計	曲目（Ⅳ）H23/24	集計
1	どんぐりころころ	298	大きなくりの木の下で	158	どんぐりころころ	133	たなばたさま	223
2	大きなくりの木の下で	269	どんぐりころころ	155	やきいもグーチーパー	131	どんぐりころころ	222
3	あわてんぼうのサンタクロース	262	チューリップ	145	あわてんぼうのサンタクロース	130	おしょうがつ	221
4	やきいもグーチーパー	258	あわてんぼうのサンタクロース	140	もりのくまさん	126	あわてんぼうのサンタクロース	219
5	山のおんがくか	245	おしょうがつ	140	山のおんがくか	122	うみ	219
6	チューリップ	241	おもいでアルバム	138	大きなくりの木の下で	120	こいのぼり	217
7	もりのくまさん	238	おべんとう	135	あめふりくまのこ	119	大きなくりの木の下で	216
8	うみ	227	やきいもグーチーパー	134	おもいでアルバム	113	ちょうちょ	216
9	キラキラ星	221	おかえりの歌	132	ゆき	112	チューリップ	213
10	おしょうがつ	218	こいのぼり	131	おもちゃのチャチャチャ	108	ゆき	213
11	先生とおともだち	216	まつぼっくり	131	おかえりのうた	105	ジングルベル	210
12	たなばたさま	215	キラキラ星	130	しゃぼんだま	105	やきいもグーチーパー	206
13	まつぼっくり	215	ゆき	130	手のひらをたいうように	104	まつぼっくり	205
14	ジングルベル	210	ジングルベル	127	とんぼのメガネ	104	キラキラ星	204
15	おもいでアルバム	207	山のおんがくか	127	ことりのうた	103	山のおんがくか	203
16	ことりのうた	206	ことりのうた	126	おぼけなんてないさ	102	たきび	201
17	こいのぼり	202	うみ	119	こいのぼり	102	うれしいひなまつり	196
18	しゃぼんだま	202	しゃぼんだま	119	めだかのがっこう	102	しゃぼんだま	190
19	おべんとうのうた	196	先生とおともだち	116	うみ	101	おべんとう	188
20	ちょうちょ	195	あくしゅでこんには	115	まつぼっくり	101	おもいでアルバム	188
21	おかえりのうた	188	いちねんせいになったら	114	キラキラ星	100	とんぼのメガネ	186
22	めだかのがっこう	183	たなばたさま	110	おしょうがつ	99	めだかのがっこう	186
23	たきび	176	ちょうちょ	109	先生とおともだち	99	まめまき	176
24	おもちゃのチャチャチャ	171	もりのくまさん	109	おべんとう	98	おかえりのうた	175
25	手のひらをたいうように	170	いぬのおまわりさん	103	たきび	97	ことりのうた	175
26	とんぼのメガネ	166	手のひらをたいうように	103	チューリップ	95	先生とおともだち	172
27	いちねんせいになったら	165	たきび	102	たなばたさま	95	歯をみがきましょう	170
28	あくしゅでこんには	162	おもちゃのチャチャチャ	97	いぬのおまわりさん	94	あくしゅでこんには	165
29	ゆき	158	うれしいひなまつり	89	そうだったらいいにな	91	おててをあらいましょう	165
30	おぼけなんてないさ	152	おててをあらいましょう	89	となりのトトロ	91	いちねんせいになったら	160
31	南の島のハメハメ大王	151	とんぼのメガネ	87	うれしいひなまつり	90	おかたづけ	160
32	いぬのおまわりさん	150	おぼけなんてないさ	83	ちょうちょ	90	まっかな秋	159
33	うれしいひなまつり	143	南の島のハメハメ大王	78	南の島のハメハメ大王	90	もりのくまさん	158
34	アンパンマンマーチ	138	歯をみがきましょう	76	アイスクリームのうた	88	手のひらをたいうように	157
35	おててをあらいましょう	135	アイアイ	75	アンパンマンマーチ	88	あめふりくまのこ	142
36	水あそび	130	さよならのうた	72	いちねんせいになったら	86	コンコンシャーンのうた	142
37	歯をみがきましょう	129	おはようのうた（田中・河村）	69	アイアイ	85	おもちゃのチャチャチャ	141
38	さよならのうた	127	おかたづけ	68	さよならのうた	84	雪のこぼろず	133
39	おはようのうた（田中・河村）	126	ありがとうさようなら	67	ジングルベル	84	おぼけなんてないさ	131
40	となりのトトロ	114	となりのトトロ	67	あくしゅでこんには	83	おはようのうた（田中・河村）	127
41	あめふりくまのこ	112	めだかのがっこう	65	歯をみがきましょう	82	きよしこのよる	124
42	そうだったらいいにな	112	アンパンマンマーチ	63	さんぽ	80	さよならのうた	123
43	きよしこのよる	108	アイスクリームのうた	60	水あそび	79	アイアイ	115
44	アイアイ	104	そうだったらいいにな	58	大きな古時計	78	おかあさん	115
45	おかたづけ	99	おかあさん	57	ふしぎなポケット	77	いぬのおまわりさん	111
46	北風小僧の寒太郎	95	大きな古時計	52	おかあさん	73	ありがとうさようなら	108
47	雪のこぼろず	94	まっかな秋	52	きよしこのよる	70	こおろぎ	107
48	大きな古時計	90	コンコンシャーンのうた	50	まっかな秋	67	もみじ	106
49	おかあさん	87	きよしこのよる	49	とんでったバナナ	66	小さい秋みつけた	104
50	アイスクリームのうた	82	まめまき	47	雪のこぼろず	65	たんじょうび	103
51	まっかな秋	80	あめふりくまのこ	46	ありがとうさようなら	64	アイスクリームのうた	101

52	たんじょうび	78
53	まめまき	74
54	小さい秋みつけた	64
55	小さな世界	64
56	ミッキー・マウスマーチ	57
57	とんでったバナナ	56
58	もみじ	53
59	きくのはな	49
60	ドラえもののうた	46
61	さんぼ	45
62	コンコンクシャーのうた	43
63	こおろぎ	42
64	ありがとうさようなら	40
65	うんどうかい	38
66	雪のペンキやさん	35
67	こぎつね	32
68	ふしぎなポケット	32
69	お花がわらった	30
70	やまびごっこ	28
71	春	23
72	おしえて	22
73	やぎさんゆうびん	22
74	かたつむり	20
75	ハイホー	19
76	幸せなら手をたたこう	16
77	きょうからおともだち	15
78	ぞうさん	15
79	ビビディ・パビディブー	14
80	おつかいありさん	13
81	おなかのへるうた	13
82	サザエさん	13
83	世界中の子どもたちが	13
84	線路は続くよどこまでも	13
85	かわいいかくれんぼ	11
86	トントントンひげじいさん	11
87	むすんでひらいて	11
88	よいこのあいさつ	11
89	赤鼻のトナカイ	10
90	宇宙船のうた	10
91	ぶんぶんぶん	10
92	おはよう(増子・本多)	9
93	お山のラジオ体操	9
94	かえるの合唱	9
95	クラリネットごわしゅった	9
96	ぼくのミックスジュース	8
97	いとまき	6
98	メリーさんの羊	6
99	バスごっこ	6
100	手をたたきましよう	6

水あそび	45
ミッキー・マウスマーチ	45
小さな世界	44
雪のこぼろず	43
たんじょうび	38
とんでったバナナ	35
北風小僧の勘太郎	31
雪のペンキやさん	31
もみじ	29
さんぼ	27
こおろぎ	23
小さい秋みつけた	22
きくのはな	19
おはよう(増子・本多)	18
ドラえもののうた	18
ふしぎなポケット	17
お花がわらった	16
やぎさんゆうびん	16
線路は続くよどこまでも	13
バスごっこ	13
春	13
やまびごっこ	12
うんどうかい	11
お山のラジオ体操	11
ぞうさん	11
おしえて	10
こぎつね	10
どんな色がすき	10
人間ていいな	10
幸せなら手をたたこう	9
世界中の子どもたちが	9
おなかのへるうた	9
ビビディ・パビディブー	9
おつかいありさん	8
宇宙船のうた	8
かたつむり	8
きょうからおともだち	7
手をたたきましよう	7
ドレミのうた	7
赤鼻のトナカイ	6
あめふり	6
サザエさん	6
春がきたんだ	6
むすんでひらいて	6
めざせポケモンスター	6
北の国から	5
ハイホー	5
ハッピーバースディ	5
おはなしゆびさん	4
おんまはみんな	4
崖の上のポニーヨ	4
はじめの一步	4

北風小僧の寒太郎	62
おはようのうた(田中・河村)	62
おててをあらいましょう	58
やぎさんゆうびん	57
コンコンクシャーのうた	56
世界中の子どもたちが	56
ミッキー・マウスマーチ	56
線路は続くよどこまでも	54
小さな世界	53
バスごっこ	52
手をたたきましよう	51
たんじょうび	49
もみじ	49
きのこ	48
おかたづけ	48
こおろぎ	46
小さい秋みつけた	46
まめまき	45
こぎつね	44
おつかいありさん	43
おなかのへるうた	42
どんな色がすき	42
人間ていいな	41
赤鼻のトナカイ	40
かたつむり	39
ぼくのミックスジュース	39
かわいいかくれんぼ	38
とけいのうた	35
ぶんぶんぶん	35
幸せなら手をたたこう	34
お花がわらった	34
おはよう(増子・本多)	34
ドラえもののうた	33
クラリネットごわしゅった	33
きくのはな	32
ありさんのおはなし	31
ドレミのうた	28
ホホホ	27
おはなしゆびさん	25
こぶたぬきつねこ	25
雪のペンキやさん	25
ハッピーバースディ・ユー	24
春がきたんだ	24
あめふり	24
おへそ	23
むすんでひらいて	23
夕やけこやけ	23
たのしいね	22
うんどうかい	22
かえるの合唱	22
勇気100%	22

そうだったらいいのにな	87
大きな古時計	86
雪のペンキやさん	81
水あそび	79
お花がわらった	75
うんどうかい	74
さんぼ	68
かたつむり	65
春	60
アンパンマンマーチ	58
小さな世界	54
ぶんぶんぶん	51
となりのトトロ	49
世界中の子どもたちが	46
さよならぼくたちの保育園(幼稚園)	42
かえるの合唱	40
きくのはな	40
春がきたんだ	38
ふしぎなポケット	37
むすんでひらいて	37
おはよう(増子・本多)	35
きょうからおともだち	35
きのこ	33
手をたたきましよう	31
あおむしでたよ	29
おむねをはりましよう	28
こぎつね	28
にじ	28
あなただけのおなまえは	27
ミッキー・マウスマーチ	27
とんでったバナナ	27
赤鼻のトナカイ	26
春がきた	26
やまびごっこ	26
よいこのあいさつ	26
虫のこえ	26
パンダうさぎコアラ	24
トントントンひげじいさん	24
ぞうさん	23
とけいのうた	23
ドラえもののうた	22
ピクニック	21
げんこつやまのためきさん	19
ドレミのうた	19
お山のラジオ体操	18
北の国から	18
やぎさんゆうびん	18
赤とんぼ	17
いとまき	17
幸せなら手をたたこう	17

表-8 類型別（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）幼児歌曲集計結果（2）

番号	曲 目	集計	番号	曲 目	集計	番号	曲 目	集計
1	どんぐりころころ	808	51	大きな古時計	306	101	ありさんのおはなし	31
2	大きなくりの木の下で	763	52	コンコンクシャーンのうた	291	102	あめふり	30
3	あわてんぼうのサンタクロース	751	53	ありがとうさようなら	279	103	あおむしでたよ	29
4	やきいもグーチーパー	729	54	たんじょうび	268	104	おはなしゆびさん	29
5	山のおんがくか	697	55	もみじ	237	105	ハッピーバースディトゥーユー	29
6	チューリップ	694	56	小さい秋みつけた	236	106	おむねをはりましょう	28
7	おしょうがつ	678	57	さんぽ	220	107	にじ	28
8	うみ	666	58	こおろぎ	218	108	あなたのおなまえは	27
9	キラキラぼし	655	59	小さな世界	215	109	ホホホ	27
10	こいのぼり	652	60	北風小僧の寒太郎	188	110	春がきた	26
11	まつぼっくり	652	61	ミッキー・マウス・マーチ	185	111	むしの声	26
12	おもいでアルバム	646	62	とんでったバナナ	184	112	こぶたぬきつねこ	25
13	たなばたさま	643	63	ゆきのペンキやさん	172	113	ハイ・ホー	24
14	ジングルベル	631	64	ふしぎなポケット	163	114	パンダうさぎコアラ	24
15	森のくまさん	631	65	おはながわらった	155	115	いとまき	23
16	おべんとう	617	66	うんどうかい	145	116	おへそ	23
17	しゃぼんだま	616	67	きくのはな	140	117	きたの国から	23
18	ゆき	613	68	かたつむり	132	118	ビビディ・バビディブー	23
19	ことりのうた	610	69	世界中のこどもたちが	124	119	夕やけこやけ	23
20	ちょうちょ	610	70	ドラえもののうた	119	120	おしえて	22
21	せんせいとおともだち	603	71	こぎつね	114	121	たのしいね	22
22	おかえりのうた	600	72	やぎさんゆうびん	113	122	ゆうき100%	22
23	たきび	576	73	おはよう(増子・本多)	96	123	ピクニック	21
24	とんぼのめがね	543	74	はる	96	124	げんこつやまのたぬきさん	19
25	めだかのがっこう	536	75	ぶんぶんぶん	96	125	サザエさん	19
26	手のひらを太陽に	534	76	てをたたきましよう	95	126	宇宙船のうた	18
27	あくしゅでこんにちは	525	77	あかはなのトナカイ	82	127	赤とんぼ	17
28	いちねんせいになったら	525	78	きのこ	81	128	メリーさんのひつじ	6
29	うれしいひなまつり	518	79	せんろはつづくよどこまでも	80	129	めざせポケモンスター	6
30	おもちゃのチャチャチャ	517	80	むすんでひらいて	77	130	おんまはみんな	4
31	おばけなんてないさ	468	81	しあわせなら手をたたこう	76	131	崖の上のポニョ	4
32	いぬのおまわりさん	458	82	かえるのがっしょう	71	132	はじめの一步	4
33	はをみがきましよう	457	83	バスごっこ	71			
34	おててをあらいましよう	447	84	春がきたんだ	68			
35	あめふりくまのこ	419	85	やまびごごっこ	66			
36	さよならのうた	406	86	おつかいありさん	64			
37	おはようのうた(田中・河村)	384	87	おなかのへるうた	64			
38	アイアイ	379	88	とけいのうた	58			
39	おかたづけ	375	89	きょうからお友達	57			
40	まっかな秋	358	90	ドレミの歌	54			
41	きよしこのよる	351	91	どんな色がすき	52			
42	そうだったらいいのにな	348	92	にんげんっていいな	51			
43	アンパンマンマーチ	347	93	かわいいかくれんぼ	49			
44	まめまき	342	94	ぞうさん	49			
45	ゆきのこぼうず	335	95	ぼくのミックスジュース	47			
46	みずあそび	333	96	クラリネットこわしちゃった	42			
47	おかあさん	332	97	さよならぼくたちの保育・幼稚園	42			
48	アイスクリームのうた	331	98	お山のラジオ体操	38			
49	となりのトトロ	321	99	よいこのあいさつ	37			
50	南の島のハメハメ大王	319	100	トントントンひげじいさん	35			

## イ) 学生が選んだベスト100

表-9は選曲された曲、上位<どんぐりころころ>から<トントントンひげじいさん>までの100曲を分類したものである。4月から3月までの月ごとの歌(58曲)、毎日の生活の歌(13曲)、楽しい歌(18曲)、動物の歌(7曲)、アニメの歌(5曲)として分類でき、音楽表現活動における年間計画として取り上げたいものである。

表-9 将来保育者をめざす学生が選んだベスト100曲

月ごとの歌(57曲)		生活の歌(13曲)	楽しい歌(18曲)
4月	おはながわらった	チューリップ	おもちゃのチャチャチャ
	きょうからお友達	はる	クラリネットこわしちゃった
	せんせいとおともだち	春がきたんだ	しあわせなら手をたたこう
	ちょうちょ	ぶんぶんぶん	世界中の子どもたちが
5月	おかあさん	ことりのうた	せんろは続くよどこまでも
	こいのぼり	めだかのがっこう	そうだったらいいのにな
6月	あめふりくまのこ	かたつむり	小さな世界
	大きな古時計	とけいのうた	てをたたきましょう
7月	かえるのがっしょう		ドレミのうた
	うみ	たなばたさま	とんでったバナナ
	キラキラぼし	みずあそび	トントントンひげじいさん
8月	しゃぼんだま		たんじょうび
	アイスクリームのうた	手のひらを太陽に	どんな色がすき
	おぼけなんてないさ	南の島のハメハメ大王	にんげんっていいな
9月	お山のラジオ体操		バスごっこ
	うんどうかい	小さい秋みつけた	ふしぎなポケット
	こおろぎ	とんぼのめがね	ぼくのミックスジュース
10月	大きなくりの木の下で	まつぼっくり	むすんでひらいて
	きのこ	やきいもグーチーパー	やまびごっこ
	どんぐりころころ		
11月	きくのはな	たきび	
	北風小僧の寒太郎	まっかな秋	
	こぎつね	もみじ	
12月	あわてんぼうのサンタクロース	コンコンクシャーンのうた	アンパンマンマーチ
	あかはなのトナカイ	ジングルベル	となりのトトロ
	きよしこのよる		ドラえもんうた
1月	お正月	ゆきのこぼろず	ミッキーマウス・マーチ
	ゆき	ゆきのペンキやさん	
2月	まめまき		
3月	ありがとうさよなら	おもいでアルバム	
	いちねんせいになったら	さよならぼくたちの保育・幼稚園	
	うれしいひなまつり		
		動物の歌(8曲)	アニメの歌(4曲)
		アイアイ	
		いぬのおまわりさん	
		おつかいありさん	
		かわいいかくれんぼ	
		ぞうさん	
		森のくまさん	
		やぎさんゆうびん	
		山の音楽家	

ウ) 就職試験結果報告56園からみた幼児歌曲

一部2年生および三部3年生に進級した学生は、日頃の授業と併せて教育・施設・保育実習など毎日を慌しく過ぎている。また、卒業後の大きな節目となる就職試験も目前に控えている。S短期大学就職課がまとめた平成23年度「試験内容報告集」から、保育者としての採用試験結果報告56園をあげ、ピアノ実技試験を実施した46園を対象に内容の検討を試みた。

	公立保育園	私立幼稚園	私立保育園
試験内容報告園数 (56園)	6 (2市・4町)	23	27
ピアノ実技試験実施園 (46園)	4	20	22

表-10は、課題として出された曲目である。分類として課題曲・自由曲・幼児歌曲となっているが、曖昧な分類になっている。それぞれの課題として出された曲目は、殆ど学生たちが選曲した幼児歌曲である。弾き方として初見であったり、主旋律に伴奏つけたり、子ども達の前で実際保育者と同じように弾き歌いしたりした試験方法を取っている。

表-10 平成23年度 就職実技試験曲目

	曲 目
課題曲	<とけいのうた>、<ぶらんこ>、<かわいいかくれんぼ>、<きらきらぼし>、<むすんでひらいて>、<とんぼのめがね>、<こぎつね>、<いぬのおまわりさん>、<世界中のこどもたちが>、<ドレミの歌>、<園歌>、<ありさんのおはなし>、<あめふりくまのこ>、<にじ>、<まつぼっくり>、<おもちゃのチャチャチャ>、<とんぼのめがね・むすんでひらいて・きらきら星 (1曲選曲し伴奏付け)>、<うみ>、<シャボン玉>、<季節の歌>、<バイエル>、<ソナチネ I、(No.4)>、<ブルグミュラー25番 (No.25)>、<ドッキドキドン! 1年生 (初見)>、<みずあそび (初見)>、<どんぐりころころ (初見)>、<せんせいとおともだち (初見)>、<ほとけさま (初見)>、<きくの花 (初見)>
自由曲	<うみ (自分が練習している曲)>、<どんぐりころころ>、<山の音楽家>、<おばけなんてないさ>、<アイアイ>、<ことりのうた>、<どんぐりころころ>、<大きな栗の木の下で>、<おかえりのうた>、<先生とおともだち>、<とんぼのめがね>、<森のくまさん>、<ゆき>、<ソナチネ1 (No.7)>、<ブルグミュラー18番>、<ツェルニー30番 (No.7.17.13)>、<ツェルニー100 (No.47, 50)>、<バイエル>、<お人形の夢と目覚め>
幼児歌曲	<あめふりくまのこ>、<あくしゅでこんにちは>、<おばけなんてないさ>、<大きな栗の木の下で>、<せんせいとおともだち>、<かもつれっしゃ>、<赤とんぼ>、<アイアイ>

③ ピアノ練習に取り組む学生の思いと指導者側からの思い

初心者ばかりではなく、ピアノを弾くことや弾き歌いをするには相当の努力が必要である。また、頭で理解していても手が動いてくれないというジレンマは、誰もが経験しているようである。毎日の積み重ね、継続する事の大切さを自ら体験する事は、将来子どもの成長を支える保育者となる学生にとって大切なことと考える。ここでは、学生の立場から日頃のピアノ練習に対する思いと指導者の立場から学生に身につけさせたい力などを検討した。

## ア) 学生の思い

## \* 1年間の練習の状況

## # 保育に音楽が必要と思いますか。

保育活動において音楽が必要であると答えた学生が殆どである。実習などで、活動の中に歌・楽器・リズム遊びなどが日常的に取り入れられていたようである。

	思う	どちらでもない	思わない
人数(人)	105	2	0
%	98	2	0

## # ピアノを弾くことが以前と比較して楽しくなりましたか。

1年間努力した結果、83%の学生が弾くことが楽しくなったと答えている。

	なった	どちらでもない	ならない
人数(人)	89	16	2
%	83	15	2

指導により、練習方法などより効果的な弾き方を学び、自ら音作りができればと考える。また、レパートリーも増やして欲しい。

## # 弾き歌いに慣れましたか。

ピアノを弾く活動に併せて、さらに歌を歌う活動をすることはとても大変なことである。約半数の学生は慣れたとしているが、まだまだ大変さを感じている学生が多くいる。

	慣れた	どちらでもない	慣れない
人数(人)	58	42	3
%	54	39	3

## \* ピアノ練習する(教則本)に当たっての学生の思い

学生がグレードに沿って教則本を練習する時の困難な点と楽しい点をまとめた。学生の状況を知る事で今後どのような課題があるかを探りたい。

## # 困難な点

- ・楽譜を正確に弾くことが難しい。  
(調子記号・強弱記号・臨時記号・装飾音・フレーズの取り方など見落としがある)
- ・初見が苦手で音読みに時間がかかる。
- ・弾くことで精一杯である。そのために運指(指使い)を正確に弾けていない。
- ・その曲に合った音色・速さ・バランスなど表現力をつけて弾くことができない。
- ・人前で弾くことが苦手な緊張してしまう。結果的に今どこを弾いているか分からなくなってしまう。
- ・練習中に音やリズムが合っているかが不安である。
- ・試験課題曲の5曲を間違いなしに弾くことが難しい。
- ・童謡と異なり知らない曲なので、イメージがつかめず間違えて覚えてしまう。
- ・グレードが上がるにつれて曲が長く、併せてテンポが速くなったりリズムが複雑になったりする。その為に練習時間が多くかかる。
- ・「失敗したらどうしよう」という不安に打ち勝つことが大切である。
- ・練習を少しでもしていないとすぐに指が動かなくなり忘れてしまう。

## # 楽しい点

- ・ピアノが好きだから楽しい。
- ・課題が達成できた時の喜びが大きい。(弾けないと思っていた曲が弾けた時の喜び)
- ・楽しくなる曲や明るい曲など弾ける曲が増えてくると楽しい。
- ・何度も練習すると必ず上手になること。(時間をかけた分達成感が増す)



- ・曲のイメージがつかめ、「いい曲だな」と思えた時が楽しい。
- ・だんだん上手になっていくのが嬉しくて楽しい。(上達しているのが感じる時)
- ・初めの頃より楽譜の読みが早くなったり指が動くようになったりして、1曲を弾きこなす時間が短くなった。
- ・自分のレベルより上に挑戦できることが嬉しい。
- ・先生や家族に「前より上達したね」と褒められた時は嬉しい。

\* 幼児歌曲を弾く（弾き歌い）にあたっての学生の思い

#### # 困難な点

- ・楽しく弾きながら歌うのが難しい。(緊張して声が出なくなる)
- ・暗譜すること、大きな声を出して歌うこと、子ども達の顔を見ながら弾き歌いすることなど一度にすることが難しい。
- ・楽譜のまま弾くのではなく、歌詞に感情を入れたり、ペダルや歌などを取り入れたり、強弱やブレスの場所など全てに集中しなければならないことが難しい。
- ・運指、子どもの年齢のあったテンポ、歌詞（声）とピアノのバランス、ペダルの使い方、コードを使った弾き方が難しい。
- ・知っている曲だと返って楽譜をよく見ずに違ったリズムで弾いてしまうことがある。
- ・課題曲が決まっていないために自分で選曲することが難しい。(レパートリーが少ない)
- ・1番だけではなく最後まで歌詞を覚えて弾くことが難しい。番号によっては、歌詞に多少リズムが異なるときがあり大変である。
- ・間違えてしまった時、止まらずに次に進めて弾き歌いすることが難しい。

#### # 楽しい点

- ・自分が想像していた通りに弾き終えた時、頑張った成果が感じられ達成感がある。
- ・実習園で子ども達が楽しく歌ってくれた時など自分も楽しいと感じる。
- ・幼児歌曲のレパートリーが増えた。(次に歌う曲を選曲している時が楽しい)
- ・暗譜して弾けるようになると、自然に体でリズムが取れるようになり楽しい。
- ・試験で上手く弾くことができ周りから褒められた時、さらに、評価が良いとより嬉しい。
- ・曲が弾けるようになり、「もっとこうして弾こう」と自分で考え工夫する事が楽しい。
- ・同じ曲でも演奏者が違うだけでいろいろな表現ができる。
- ・自分の好きな曲を選曲し、練習に取り組める。

イ) ピアノ指導に当たっての指導者の思い

約半数近い学生が初心者であり、それぞれ進度の違いや指導内容も異なる学生を対象に2及び3年間で保育者としてピアノ技術をつけなければならない。日頃、限られた時間の中でレッスンを行っている指導者の思いと工夫を尋ね、今後音楽研究室としてピアノ指導のあり方の検討資料としたい。

\* 将来保育者として身に付けさせたい力

#### # 読譜力の習得

- ・初心者においても到達点(音楽表現Ⅱ：G4)を常に意識しながら音名を安易に教えるのではなく、先々自分で新しく出会う曲に挑戦できるようにしたい。リズムに対しても同じようなリズムパターンとして捉えるようにしたい。

- ・短期間で複数の曲を仕上げるようにする。

#### # 簡易伴奏付けの習得 (主要3和音を中心としたコード理解と実践)

- ・技量の差はあっても伴奏の和音選択ができるようになって欲しい。
- ・たくさんの歌を歌うためにも、知らない曲でもコードを利用して弾けるようにする。

#### # 表現力の向上「楽しく生き生きと歌って演奏できる力」

- ・その曲に合ったイメージを膨らませることによって表現力を豊かにする。
- ・同じ伴奏(音)を弾いていてもリズムやバランスのとり方によって曲の感じが違う。
- ・感受性豊かな子ども達に、歌の楽しさや曲の雰囲気や歌詞などから感じて弾けるようになりたい。
- ・子ども達に音楽を楽しむ気持ちを伝えて欲しい。また、子ども達が楽しむ新曲など積極的に挑戦して欲しい。

#### \* レッスンして不足と思われる知識・技術

##### # 理論(楽典)に則った弾き方ができない。

- ・自分で曲のイメージがつかめない為に、友達や指導者に弾いてもらい耳で覚えて感覚的に弾く学生がいる。(安定した音楽になっていない)
- ・スキップ(♪)のリズムが取れない。
- ・楽譜に記載されている強弱記号、速度記号、調子記号など意識して弾いていない。
- ・和音感がなく音をよく聴くこともせずに弾く。(ハーモニーとして捉えられない)

##### # 運指を守ることができない。

- ・指使いを守る学生の方が、曲の仕上がりが早いと思われる。

#### \* 指導する中での工夫点

- ・時間がかかっても自分で楽譜を読みながら音にしていくことを大切にしている。
- ・バイエルに出てくるリズムにこだわりつつ、自分の音色をもよく聴き確実に弾けるようにしている。
- ・リズムが苦手な学生にはリトミックをさせる。(リズム通りに歩いたり叩いたりする)
- ・限られた時間の中で、一緒に曲を分析し要領よく弾けるようにしている。
- ・右手(ピアノ)→左手(膝打ち)/左手(ピアノ)→右手(膝打ち)、階名唱と右手(メロディー)/左手(ピアノ)とメロディーの階名唱など、片手練習を徹底させている。
- ・幼児歌曲の伴奏をコード内で変化させる。
- ・楽譜から目の離せる学生に対しては、写譜させたり、ピアノのふたを半開きにして楽譜を見て弾くような工夫をしている。
- ・曲の途中であれこれと注意せず最後まで弾き、学生に自らの演奏に対して振り返りをさせる。その上で良かった点を褒めたり、アドバイスを行ったりする。
- ・曲がだいたい仕上がった時点で指導者が弾いてより良い演奏にしている。
- ・他の人の演奏を聞くようにしている。特に同じ曲の場合、自分に役立てるようにしたり、一緒に説明したりして時間短縮を図っている。
- ・音を創り出す手順は練習曲でも弾き歌いでも同じであることを伝えている。
- ・指導が一方的にならないように心がけている。特に初心者に対して気をつけている。
- ・初心者には指の形、弾く姿勢など基本をしっかり押さえている。

#### 4 考察

今回、表現する具体的な手段としてのピアノ実技に焦点をあて、平成14年度より一部学生及び三部学生のピアノ進捗の実態を見てきた。それぞれの教科の到達目標課題をグレード制で明確にしている為に大きな差は見られない。むしろ課題まで到達することを目標に指導している。指導をする中で、技術的な差はクラスごとや個々の学生に対して多くあるにしても、平均値として年度ごとの大きな差はあまり読み取ることはできなかった。しかし、結果からも明らかのように、近年、一部学生と三部学生の差が殆どなくなってきている。その為に、平成24年度入学生の三部学生からは、試験課題曲を一部学生と同じく5曲とし、その中から1曲を当日指定することになった。結果的には学生にとって不都合を感じさせることはなかった。このことは三部学生のレベルが上がったのではなく、一部学生のレベルが下がってきていることが入学時から18か月間の進捗状況を示した図5-6からも明らかである。入学時にはあまり大きな差が見られなかったにもかかわらず、1年目の「基礎音楽」の進捗状況が気になる。練習のあり方や指導方法を見直すことが必要ではないだろうか。また、学生のピアノに対する思いからも読譜力のなさが気になる。読むことができなければ感にたよって弾くことになり、正確な弾き方ができない。1年目における基礎的な音楽知識と技術力の徹底指導が必要と考える。また、レッスン時間の短さにも大きな要因があると思われる。45分授業の中での5人の学生を担当するレッスン体制は、指導が疎かになるというよりも、練習曲と幼児歌曲の弾き歌いをレッスンする事は不可能である。宮脇長谷子による「保育者養成校のピアノ指導内容について」のアンケート調査によると、一人当たりのレッスン時間の平均が13.8分という結果がある。<sup>(註6)</sup> 現在、空き時間などを利用して苦手な学生のフォローをしたり、夏休みや春休みなどの長期休業中には、日程を調整しながら専任教員による補講を設けたりするなどして補っている。また、学生に対しては、次のステップの曲目を課題とし、ピアノ技術の向上と連続性を確認している。

指導方法の工夫は意見にもあるように常になされている。今後、一層指導内容を検討する中で、個々の学生に対しては、次回のレッスンまでにどのような知識と技術力が必要かを明らかにし、練習のポイントを絞り込んだり、どのように演奏して欲しいのか伝えるなど、練習する時点から学生自身に意識づけさせる。指導者に対しては、身に付けて欲しい知識と技術を段階的に提示し分かりやすくする。現在、ピアノ実技においてグレード制をとり具体的な曲番号による到達点を明らかにしているが、内容的にはどのような力をつけるかは明らかにされていない。一部学生と三部学生の指導内容をより統一するためにも、「基礎音楽」、「音楽表現」における講義と実技を踏まえた指導内容の統一と連携が必要である。

ピアノを弾くということは、初心者にとって大変な作業でもあることが、意識調査からも読み取れる。まして、《弾き歌い》となるとより負担が大きい。子どもが日々の生活の中で、いろいろ経験し体得していくことと同じ作業かもしれない。同じ作業でも指導者としての練習の仕方、理論を踏まえた練習の仕方や方法がある。現在《弾き歌い》に慣れるために『幼児歌曲チェック』という試験を行っている。「暗譜」・「声の大小」・「表現力」にポイントをおいて練習をし、保育者と同じように弾く経験を課している。回数を重ねるごとに弾き慣れ、実習や就職試験にも活かされているようである。今後においても、講義で学んだ知識を演奏することでより深め、表現力を広げることが必要である。コードを利用した伴奏など、感にたよる弾き方ではなく、指導者としての弾き方を学んで欲しいものである。そして、継続的に積み上げていくことの大切さも

日頃の練習から学んで欲しいと願っている。

幼児歌曲に対しては、保育現場でよく歌われている基本的な歌曲が選曲されている。選曲された歌の中には学生自ら幼い時に歌い、また、保育者となって歌い継がれていくすばらしい曲があることが窺われる。幼児歌曲にあまり親しみのない学生に対して、年間を通してバランスのよい選曲のあり方として提案したり、実習の事前準備としての教材活用にできると考える。この基本的な歌曲から、さらに個々に子どもと一緒に歌いたい曲が多く増える事が望ましい。最終的には「マイ歌曲集」として、年間計画を見通した自らの曲集の制作ができればと願う。

保育における音楽の役割は大きい。教科としての「音楽」ではなく、日常のすべての活動に音楽の要素が含まれている。絵本を読む、素話を子ども達に語りかけるなど言葉がけ一つにしてもリズムカルに抑揚をつけて話すことがよくある。歌ったりリズム遊びをするなど、保育活動に音楽が多く取り入れられていることは、音楽が子ども達の成長発達にとって必要不可欠な活動といえる。このことは将来保育者を目指す学生にはよく理解できている。〈表現〉領域のねらいの一つとして、「感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ」という項目がある。将来保育者として、音楽を手段として子どもと共に自ら〈楽しむ〉ための知識と技術力を短い期間の中で習得していかなければならない。このための時間と努力が求められる。学生も教員もファシリテーターとしての工夫と研究が常に必要とされる。

## 5 おわりに

保育者養成校は、「質の高い学生」を現場から求められている。就職活動においても常に耳にする言葉である。特に幼児期を共にする保育者であろうか。しかし、免許状や資格を取得するためには当然のことであろう。個々に各教科担当者が頑張るだけではなく、養成校としての方向性や取組がより問われてくる。学生だけではなく、我々指導者も常に研鑽してよりよい良いピアノ指導を目指したい。

## 謝辞

本研究を進めるにあたり、ピアノ指導者の先生方には日頃の指導に対するご意見を頂きました。心よりお礼申し上げます。

## 註

註1) 三部学生は、一部学生と授業科目・資格の習得は同じであるものの、勤労学生を対象とするために、授業時は主に午前中に開講され3年間の期間で学んでいく形態をとっている。

註2) ・奥千恵子(2009) 「保育者養成と演奏技法－保育指導としてのピアノ奏法－」 四天王寺大学紀要 第48号

・白石景一・中村浩美(2012)「保育者養成校における音楽指導方の研究－第6報－主にピアノ初心者への指導法について」 長崎女子短大紀要 第36号

・萩田泉(2012)「幼児・初等教育の指導者養成におけるピアノ指導法の研究－初心者の学習意欲を高める教授法について－」 四天王寺大学紀要 第53号

・三宅義和・岩口撰子(2011)「保育者養成課程の学生を対象にしたピアノ演奏不安尺度の

開発と演奏不安の生成過程」 神戸国際大学紀要 第80号

註3) 平成14年度、一部1年生入学時、三部1年生入学時、基礎音楽Ⅱ、音楽表現Ⅱのピアノ進度の記入漏れ及びデータ漏れのために記載されていない。

註4) <資料-1>に示されている0から10までのグレードに基き、指導者が個々の力量を判断し練習内容や到達点を定め目標を持って練習している。ピアノ指導において、平成2年度より本学独自のグレード制を設け到達目標をバイエル終了程度と決めた。また、初心者にとって年間15回のピアノレッスンでは困難であるとし、平成9年度以降より90分授業を理論と実技それぞれ45分に分け毎週レッスンする形となった。併せて幼児歌曲の弾き歌いの指導を行うために、予め選曲された中から練習するようになった。平成13年度からは、幼児歌曲チェック試験を行いより技能向上を目指した。「音楽表現Ⅱ」のピアノ課題曲は平成11年度までは全くの自由曲であったが、あまりにも広範囲に及んでいるということで、平成12年度より「ブルグミュラー練習曲」を課題曲とした。本学のピアノ指導の変遷は、紀要第27集；<「表現」における音楽指導について>、第35集；<グレード制度をとり入れたピアノ指導の一考察>のなかに掲載されている。

資料-1 グレード認定課題曲

G	教則本	範囲No.		一部学生	三部学生
0	バイエル	～45	担当者に一任		
1	バイエル	46～65	46/48/52/55/60	5曲	3曲
2	バイエル	66～78	66/73/74/77/78	5曲	3曲
3	バイエル	79～92	80/82/88/89/91	5曲	3曲
4	バイエル	93～104	93/98/100/102/104	5曲	3曲
5	ツェルニー100		29/40/47/50	4曲	3曲
6	ツェルニー30	1～10	1/3/5/7	3曲	3曲
7	ツェルニー30	11～20	13/15/17/19	3曲	3曲
8	ツェルニー30	21～30	21/23/25/27	3曲	3曲
9	ツェルニー40	1～10	担当者に一任（複数曲）		
10	ツェルニー40	11～40	担当者に一任（複数曲）		

註5) 平成24年度「音楽表現Ⅰ」の受講学生は一部学生121人；平均値5.008、三部学生59人；平均値は4.813であった。表は、グレード別における学生数である。

グレード(点)	3	4	5	6	7	8	9	10
一部生(人)	1	49	35	26	6	2	2	0
三部生(人)	2	28	15	10	10	1	1	0

註6) 宮脇長谷子(2001)「保育者養成におけるピアノ指導の現状と課題」(静岡県立短期大学部研究紀要15-W号)において、養成校147校を対象にアンケート調査を行った。内容として①ピアノ指導の実態、②ピアノ指導内容(入学時の演奏能力・授業形態・時間・教材等)、③指導上の工夫や課題などについての結果が論じられている。

